

# ふるさと通信

Vol. 103

2019年8月

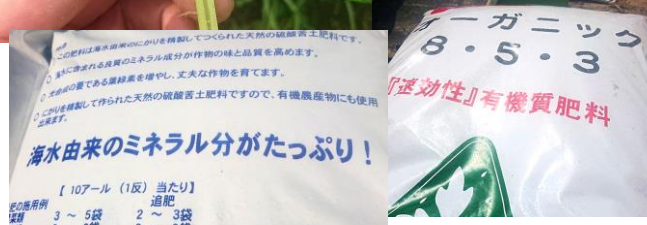


春先から冷夏予報で心配していましたが、梅雨が明けてから晴天が続き、一安心。昨年は水不足で悩まされましたが今年は水も潤沢にあるので、稲も順調に育ってくれています。7月はなんととっても穂肥（ほごえ）というお米の収量と味を決める肥料まきが大変な仕事なのですが、後半は35℃を超える日もあり、さすがにバテました。うちは通常の肥料の他にもミネラル資材もまくので全部で5トンくらい背負ったでしょうか。今はこだわらなければ田植えしたら終わりなんて稲の作り方もあるのですが、丹精込めた分、美味しいお米がたくさん穫れたらいいなあと思っているところです。



稲の穂が顔を出し花を咲かせ始めました！

この時期は水を一番必要とするので田んぼの見回りもかかせません。



化学肥料だけの追肥と比べると、労力が4倍かかってしまうのでちょっと大変ですが、アミノ酸有機肥料とミネラル肥料で美味しいお米になあれ。

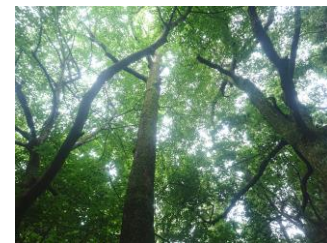


草刈りもこの時期の重要な仕事。害虫を田んぼに追い込まないために穂が出る前に終わらせなければなりません。暑さがこたえますー。



クモが田んぼ一面巣を張って、害虫からお米を守ってくれています。

田んぼ一枚一枚、稲を割って幼穂（ようすい）の長さを確認し、葉っぱの色の濃さとあわせて、肥料をまく時期と量を決めていきます。



集落で水源の里山の草刈り。今年は作業しやすい天候に恵まれ、森林浴気分であっという間に癒やされました。

8月のオマケは、バアバの畑で穫れた玉ねぎです！少量ですが味見してみてください。これから夏本番。今年も暑さ厳しくなりそうですのでご自愛下さい。それでは、今後ともよろしくお願ひいたします。

ホームページ：<http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール：[info@kanaya-farm.jp](mailto:info@kanaya-farm.jp)

2019年8月1日

金谷 武志

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>